

一般社団法人
パブリックデザインコンソーシアム
設立趣意書

2015.04



PUBLIC DESIGN
CONSORTIUM

設立の経緯 |

JUDI 都市環境デザイン会議（日本学術会議協力学術研究団体）は、1991年の設立以来、わが国の都市環境デザインを取り巻く諸問題を解決し、よりよい都市環境を形成していくために、全国10のブロック活動を主体に、調査、研究、出版、シンポジウム開催、優れた空間・製品に対する表彰等を行ってきました。

この活動の中で、新たな時代の都市環境像を実現するための提案、計画、製品開発など、より踏み込んだ活動を行うプラットフォームとしての活動体が必要との結論にいたり、ここに「一般社団法人パブリックデザインコンソーシアム（以下、PDCという）」を別組織として新たに設立することにいたしました。

設立の背景と目的 |

近年のわが国の都市基盤の状況は、インフラ施設の老朽化、人口集中地域における交通混雑、モビリティの多様化による交通混乱など、時代の変化と共に様々な問題が生じています。一方、わが国の首都東京は、2020年にオリンピック・パラリンピックの開催を控え、既存施設の補修・改良だけでなく、オリンピック時の観光客への対応、2020年以降の首都東京のあり方を考えることが喫緊の課題となっています。

PDCでは、これまでの既成概念にとらわれない新たな都市空間のあり方を考え、具体的な姿を描くとともに実現のための課題解決に取り組み、社会への提案を行なうことで、より快適で使いやすく美しい都市を目指し、新たな価値を持つ公共空間の再構築を行なうことを目的とします。

基本理念 |

私たちの生活を支える様々な製品やサービスは、近年の技術革新や新たな価値観の生成によって急速な進化を続けています。これによって、私たちの生活環境は大きく変化し、ライフスタイルまでもさらに変化を続けることが予想されます。一方で、この生活の舞台を支える都市基盤（インフラ）に目を向ければ、既存の様々な法律、制度、ルールによって一定の利便性、安全性は保たれているものの、施設の老朽化、道路構造とモビリティの関係、限られた空間の有効活用など、施設のあり方やしくみにおいて個々の小さな問題が少しずつ膨らみつつあり、次の時代に向けた手立てを講じる時期を迎えています。PDCは、急速に進む環境と価値観の変化を考慮し、既成概念にとらわれない都市の理想像を検討し、持続可能（サステイナブル）かつ柔軟な対応が可能（フレキシブル）な、時代に即したパブリックデザインの新たなスタンダードを提案し続けます。

ミッション |

パブリックデザインの新たなスタンダードを創造する

to create the new standard

日本の文化意識の表象としてのパブリックデザインの追求

standard of cultural infrastructure

一般的に公共事業では、様々な価値観を持つ多くの市民を対象とすることから、機能を重視した無駄のない「地」の存在として整備されることが通例となっています。一方で、観光地としてのイメージやまちの特徴を表現する場合に、その地域の特徴を表した整備が行われることもあります。しかし、いずれの場合も視覚的な認識に関わる問題ばかりが取り上げられることが少なくありません。

パブリックデザインは、最終的に現れる形や色のデザインだけに留まらず、そこから生まれる人の行動や景観までも考慮し、さらにはそこで暮らす人々の文化意識や道徳心の醸成において一定の価値観を共有することまでを考える責任があると考えます。そして、このことこそがパブリックデザインの社会に対する意義と捉えます。

PDC では、日本ならではの文化意識や道徳心に基づく使い方や、美意識を大切にしながら、視覚的な美しさのみならず精神面においても美しい日本を形成する上での基盤となる「パブリックデザイン」を追求することをコンセプトとし、新たな都市像の実現に向けて、様々な活動を展開します。

1. 理想的都市像の創造

- ・ 新たな時代の都市環境像に関する研究・検討と社会への提案

2. 都市問題の抽出と具体的解決策の提案

- ・ 既存の社会基盤における問題の抽出と具体的解決策の検討・提案
- ・ 既存の社会基盤の有効活用に関する研究・検討と社会への提案

3. パブリックデザインにおける新たなビジネスモデルの構築

- ・ 質の高い新たなパブリックデザイン製品の研究・開発・普及
- ・ パブリックデザインの事例・製品を対象とした新たな賞の設立

4. 都市・公共に関わるボーダーレスなネットワークの構築

- ・ 業界の枠を越えた市民・学識経験者・専門家・企業・団体等の連携推進

5. パブリックデザインの新たな思想の普及・啓発

- ・ PDC の思想、活動を社会に伝える広報・PR活動

活動内容 |

PDCでは、「収益活動」「調査・研究活動」「普及活動」の3つの柱を中心に、都市環境に関わる様々な活動を行ないます。

収益活動	調査・研究活動	普及活動
<p>自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発・販売 ・書籍の企画・執筆 <p>等</p> <p>受注事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり・観光施策支援： 計画立案、ブランディング、コーディネート ・デザイン業務：施設、空間、製品 ・イベント企画・運営 ・まちづくりや事業のPR企画・制作 <p>等</p>	<p>調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路、自動車、歩行者の安全性と快適性の両立に関する調査 ・公共空間の利活用と規制・基準との関係に関する調査 ・公共空間の利用状況と維持管理に関する調査 ・施設老朽化と機能転換等に関する調査 ・都市の防災機能・防災対策に関する調査 <p>等</p> <p>研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな都市環境像に関する研究 ・交通安全等の新たな施設・方策に関する研究 ・公共空間や既存ストックの有効活用に関する研究 ・都市防災に関する研究 <p>等</p>	<p>イベント・セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン賞の設立・運営 ・パブリックデザインセミナーの企画・運営 ・シンポジウム、講演会等の企画・運営 ・ワークショップの企画・運営 ・異業種交流パーティー ・展示会 <p>等</p> <p>広報・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイト制作 ・広報誌 ・各種媒体への企画提案、寄稿 ・イベントスポンサー <p>等</p>